

様式第1号（第4条関係）

令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付申請書

令和4年5月2日

（あて先）

さいたま市長

所在地 埼玉県比企郡ときがわ町本郷343番地7

団体名 特定非営利活動法人にじの糸

代表者氏名 吉野 愛

注 署名によらない場合は押印してください

下記により、令和4年度さいたま市市民活動及び協働の推進助成金（一般助成事業・団体希望助成事業）の交付を受けたいので、さいたま市市民活動及び協働の推進助成金交付要綱第4条の規定により、関係書類を添えて申請します。

記

- 1 助成金交付申請額 金 240,000 円
- 2 事業計画書
- 3 事業収支予算書
- 4 団体概要
- 5 添付書類



事業計画書

団体名	特定非営利活動法人 にじの糸
-----	----------------

* 事業の概要	
事業の名称	<p>*この事業は、何という名前ですか？</p> <p>まず大人が知ろう！自分らしく生きていくための性の知識</p>
事業の分野	<p>*この事業の分野は、どのような分野ですか？ <input type="checkbox"/>（四角）に<input checked="" type="checkbox"/>（チェック）を入れてください。 また、この事業を文章で短く言い表すと、どのようになりますか？（100字程度）</p> <p> <input checked="" type="checkbox"/>保健・医療・福祉 <input type="checkbox"/>社会教育 <input type="checkbox"/>まちづくり <input type="checkbox"/>観光 <input type="checkbox"/>農村漁村 <input type="checkbox"/>学術・文化・芸術・スポーツ <input type="checkbox"/>環境 <input type="checkbox"/>災害救援 <input type="checkbox"/>地域安全 <input checked="" type="checkbox"/>人権・平和 <input type="checkbox"/>国際協力 <input checked="" type="checkbox"/>男女共同参画 <input checked="" type="checkbox"/>子ども <input type="checkbox"/>情報化社会 <input type="checkbox"/>科学技術 <input type="checkbox"/>経済活動 <input type="checkbox"/>職業・雇用 <input type="checkbox"/>消費者保護 <input type="checkbox"/>その他（ ） </p>
と その 概 要	<p>子どもたちが信頼して性について話せる大人たちを増やすために、専門家による性に関する講座を3回シリーズでオンデマンド配信し、自分らしく生きていくための性の知識をまず大人が学び、教育関係者や保護者等に届ける。</p>
協働を希望する担当	<p>*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？</p> <p>人権政策・男女共同参画課（男女共同参画推進センター）</p>
マッチングファンドの申請回数（前回の結果）	<p>*マッチングファンドの申請は何回目ですか。回数をお答えください。 また、過去にマッチングファンドの利用実績がある場合は、前回の助成事業の振り返り（効果・成果）を記入してください。</p> <p>1回目（前回助成を受けた年度： 年度）</p>
対 象 者	<p>*この事業は、誰を主な対象に実施しますか？</p> <p>教育関係者(学校・学童・フリースクール・塾等)、保護者</p>
実 施 期 間	<p>*この事業は、いつからいつまでに実施しますか？</p> <p>令和 4 年 5 月 ～ 令和 5 年 2 月</p>
総 事 業 費	<p>*この事業は、いほどの資金が必要ですか？（そのうち助成金はいくらですか？）</p> <p>308,000 円 （助成金交付申請額 240,000 円）</p>
事業のテーマ	<p>*市が募集するテーマに限り、この事業のテーマを記入します。</p>

団体名	特定非営利活動法人 にじの絲
-----	----------------

1	現状における課題と事業の目的
<p>*この事業は、何を課題としてとらえましたか？（課題：地域や市民等にある解決が必要な事柄）</p> <p>スマホの普及により子ども達があやまった性の情報に出会うリスクが身近にある中で、大人たちの性に関する知識不足により、適切な対応が出来なかつたり不用意に子どもたちを傷付けてしまうケースがあります。また、子どもへの性教育が適切に行われても、大人たちが子どもからの SOS を受け止められないことでセカンドレイプにつながってしまう可能性もあります。</p>	
<p>*この課題に対し、行政（国、県、市）が実施している施策をどう考えましたか？</p> <p>国際基準では低年齢からの性教育を段階的に行うことを推奨しているのに対し、日本では学習指導要領にある”はじめて規定”により、本当に必要な性教育が行われていない学校が多いのが現状です。同様に教育関係者や保護者への性教育の意識啓発も不十分です。</p>	
<p>*この事業は、何を目的に設定しましたか？ （目的：課題に対応して何を指すのか。課題が解決したときの、地域や市民等が得られる理想の姿。）</p> <p>子どもにかかわる大人たちが正しい性の知識を得ることで、性をタブーとせず、子ども達の性の悩みに寄り添うことが出来ます。 また、適切な対応の仕方を学ぶことは、子どもの人権を守ることにもつながります。</p>	

2	事業の具体的な内容
<p>*この事業は、どんな手段で課題を解決しますか？（いつ、どこで、だれが・だれに、なにを、どうするの視点で） ※目的を達成するための事業が複数ある場合には、事業②の欄を追加（挿入）してください。</p>	
事業①の事業名	まず大人が知ろう！自分らしく生きていくための性の知識
いつ（ごろ）	8月～12月頃
どこで	オンライン・オンデマンド配信
だれが（主体） だれに（対象）	（主体） 当団体、人権政策・男女共同参画課（男女共同参画推進センター）、外部講師 （対象） 教育関係者（学校・学童・フリースクール・塾等）、保護者
なにを	性に関するオンライン講座の収録配信、つながる BOOK(性について学べる小冊子)※の配布 ※つながる BOOK とは 産婦人科医・助産師等の専門家が、厚生労働行政推進調査事業費補助金（厚生労働科学特別研究事業）を活用し制作した中高生向けの性教育パンフレット
どうする	子どもにかかわる大人たちに必要な性の知識を届ける。 つながる BOOK を大人を通して子ども達に届ける。

団体名	特定非営利活動法人 にじの絲
-----	----------------

3	事業により期待できる成果・効果
<p>*この事業が、直接的に達成できることは何ですか？また、その達成できたことによって、地域や市民にどんな良い影響がありますか？（団体、市、参加者など事業に携わるすべての人に波及する成果、効果を書いてください。）</p> <p>外部の専門家を招いた講座を3回のシリーズ企画で行うことで、段階的に性についての知識を深めることが出来ます。</p> <p>また、オンライン・オンデマンドで配信することで、より多くの市民に届けることが可能です。</p> <p>性教育の意識啓発を行うことは、子どもたちが自分らしく安心して暮らしていける地域としてのアピールにもつながります。</p> <p>「つながる BOOK」をアイテムとして配ることで、子ども達にも必要な性の知識を届けることが出来ます。</p>	

4	この課題に関連した、団体のこれまでの取組や特性
<p>*この課題に関連して、団体が今までに取り組んできたことはどんなことですか？</p> <p>専門家を招いた講演やワークショップや、性について安心して話せる対話の場を企画運営しています。</p> <p>今までに開催したイベント 「助産師さんに聞く！性のはなし」「子どもたちとジェンダー」「Mr.ゲイジャパンが語る性教育」「性と生～自分らしさを生きるとは？」「性のカタリバ」「性的同意カードワークショップ」「発達がゆっくりな子向けの性教育」「オーストラリアのジェンダー教育」等</p>	
<p>*この課題に関連して、団体がもつ強みや生かせるノウハウはどんなことですか？</p> <p>オンラインや地域で「性のカタリバ」などの対話の場やイベント出展なども行っているため、講座等で話を聞いた後にもつながりを持つことが可能です。</p> <p>課題解決に向かうために現状をシェアしたり知恵を出し合う場も、今後作っていく予定です。</p> <p>また令和3年度は市主催のパートナーシップさいたまフェスタに出展し、性教育の啓発を行ったため、オンラインによる講座開催は得意としており、本事業にも活かすことができます。</p>	
<p>*この課題に取り組む団体の思い（熱意・姿勢）はどんなことがありますか？</p> <p>自分の心と身体ことは自分で決めるべきで、性について学ぶことは自分らしく生きるために必要不可欠だと考えます。</p> <p>性教育は人権教育であり、すべての人に関係あることです。</p> <p>これからの未来を担う子どもたちには、性について知る機会や話す機会を持ち、信頼して話せる大人が身近にいることが子どもの人権として当たり前にある社会にしていきたいと思っています。</p>	

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	特定非営利活動法人 にじの絲
-----	----------------

5	市との協働に期待すること				
<p>*この事業は、さいたま市のどの担当と協働を希望しますか？（再掲）</p> <p>人権政策・男女共同参画課(男女共同参画推進センター)</p>					
<p>*この事業における、市との協働の意義、協働の内容はどんなことですか？</p> <p>当団体は設立からまだ2年経っておらず、周知もまだ進んでいないのが現状です。今回男女共同参画推進センターと協働させていただくことで、事業への信頼度も上がり参加者が増えることを期待しています。</p> <p>また、コロナ禍でのオンラインによる性教育は市でも積極的に推進しており、公益的な事業として協働する意味が十分あると考えます。</p> <p>男女共同参画推進センターでは、これまでも様々な魅力的な講座をオンデマンド配信されているため、協働させていただくことで関心のある層にアプローチしやすく、講座内容や集客に関してもアイデアを出し合うことで、よりよいものを多くの方々にお届け出来ると思っています。</p>					
<p>*この事業に関して、市と協働するにあたって、どんなことを協力、支援、実現してほしいですか？「 」に具体的に書いてください。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>■市が持つ人的な（ノウハウ等）資源による協力・支援</p> <p>「 講座の収録や配信に関するサポート 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>■市が持つ施設などの資源による協力・支援</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> </td> </tr> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>■市が持つ発信力・情報(提供)の資源による協力・支援</p> <p>「 さいたま市報・ウェブサイトでの広報 」 「 」</p> <p>「 案内チラシの配布 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>■その他</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> </td> </tr> </table>		<p>■市が持つ人的な（ノウハウ等）資源による協力・支援</p> <p>「 講座の収録や配信に関するサポート 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p>	<p>■市が持つ施設などの資源による協力・支援</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p>	<p>■市が持つ発信力・情報(提供)の資源による協力・支援</p> <p>「 さいたま市報・ウェブサイトでの広報 」 「 」</p> <p>「 案内チラシの配布 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p>	<p>■その他</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p>
<p>■市が持つ人的な（ノウハウ等）資源による協力・支援</p> <p>「 講座の収録や配信に関するサポート 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p>	<p>■市が持つ施設などの資源による協力・支援</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p>				
<p>■市が持つ発信力・情報(提供)の資源による協力・支援</p> <p>「 さいたま市報・ウェブサイトでの広報 」 「 」</p> <p>「 案内チラシの配布 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p>	<p>■その他</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p> <p>「 」 「 」</p>				

6	助成終了後の事業展開
<p>*この事業は、マッチングファンド助成終了後（※）にどんな事業展開を考えていますか？</p> <p>※特に翌年度以降の継続性、協働や自立事業への見込みなどについて記入してください。</p> <p>性に関する啓蒙活動は継続することに意味があると考えているため、来年度以降も何らかの形でこのようなオンライン・オンデマンド配信の講座を開催したいと考えています。</p> <p>自主事業として開催する場合は参加費を有料にすることも視野に入れ、安定して活動が行えるように収入源の確保についても検討していきたいです。</p>	

※パソコンで作成される方で、記入欄が不足して書ききれない場合は、行を追加してください。手書きで作成される方は、別紙に記入して添付してください。

団体名	特定非営利活動法人 にじの絲
-----	----------------

7	事業の詳細な計画
事業①の事業名	まず大人が知ろう！自分らしく生きていくための性の知識
*事業の計画はどのように考えていますか？ 準備、活動、振り返り等について、体制、実施する時期、どこで、だれが（参加者の属性や人数などを含む）等具体的に何を行うか記入してください。※目的を達成するための事業が複数ある場合は、事業②の欄を追加（挿入）してください。	
実施時期	実施内容
令和4年 5月	当団体と男女共同参画推進センターによるミーティング (講座内容の確認、市報に載せる原稿等) チラシの作成と印刷依頼、つながるBOOKの印刷
6月～	チラシの配布・設置、SNS等での告知開始
7月	印刷されたつながるBOOKについて、配布用として仕分け作業の実施
①7月	当団体と男女共同参画推進センター、外部講師によるミーティング (オンライン収録の事前打ち合わせ、流れの最終確認等)
②8月	講座のオンライン収録・オンデマンド配信開始
③8月	配信終了後、開催報告を当団体SNSにアップ オンライン受講者のうち、希望者につながるBOOKの配布
	①～③を1講座とし、年内に全3回実施する
12月	反省会（報告会の打ち合わせ等）
～令和5年 1月	事業の振り返りを当団体SNSにアップ
2月	報告書の作成、提出

団体名	特定非営利活動法人 にじの絲
-----	----------------

8	事業の実施体制	
<p>* 団体において、事業の実施に関わる人はだれですか？この事業における具体的な役割と併せて記入してください。 ※事業を実施する際に中心的な役割を担う人を10名以内で記入してください。</p>		
氏名	団体における役職等	この事業における役割
吉野 愛	代表理事	総括
[Redacted]		スタッフ
		スタッフ
		スタッフ
		スタッフ
		スタッフ
		スタッフ

9	他団体との連携状況
<p>* この事業は、他団体と連携(※)していますか？またはその見込みはありますか？ ※企業、学校、地域の団体（自治会、PTA等）、NPO、ボランティア団体等と連携して事業を実施する場合には、その協力関係を記入してください。 なし</p>	

事業収支計算書（計画、交付申請、変更、実績）

<収入>

単位：円

区 分		算出根拠	金 額
収入合計 (A)		(a) + (b)	308,000
自己資金額 (a)		①～⑥の合計 (d) と同額	68,000
団体の自己資金	① 自己拠出金		68,000
	②		
	③		
費用の徴収	④		
	⑤		
	⑥		
助成金交付申請額 (b) (助成金収入・100万円以内)		(c) と同額	240,000

<支出>

区 分		算出根拠	金額
支出合計 (総事業費) (B)		(c) + (d)	308,000
助成対象経費 のうち 助成金限度額を 上回らない経費	① 謝金・報酬	講師謝金 3名分	110,000
	② 印刷製本費	つながる BOOK5000 部印刷費	130,000
	③		
	④		
	⑤		
	⑥		
	⑦		
	⑧		
	⑨		
	⑩		
助成金充当経費計 (c)		①～⑩の合計 (b) と同額	240,000
助成対象経費 のうち 助成金限度額を 上回る経費	⑪ 使用料	公民館使用料 1000円×4回	4,000
	⑫ 役務費(通信運搬費)	つながる BOOK 送料 810円×50か所	40,500
	⑬ 旅費	スタッフ交通費 8名分	8,500
	⑭ 印刷製本費	講座チラシ A4 両面カラー 5000部	15,000
助成対象外経費	事業に附随して 必要な経費 ((c)の10%以内)	⑮	
		⑯	
		⑰	
	事業に附随して 必要な事務局 人件費	⑱	
		⑲	
		⑳	
自己資金充当経費計 (d)		⑪～⑳の合計 (a) と同額	68,000

※ (A) = (B)、(a) = (d)、(b) = (c) になるように記入してください。

助成金限度額計算書

単位：円

自己資金を3倍にした金額(e)		=(a)×3	
金額	算出根拠 [自己資金 (a) の3倍の金額]		
204,000	68,000	×	3倍

労力換算額 (無報酬で事業に参加する市民の労力を金額に換算した金額) (f)		=1~10の計	
金額	算出根拠		
47,500	番号	事業の実施時期・内容 算出根拠 [人数×時間×500円]	金額
	1	8月 4人 × 3時間 × 500円	6,000
		・ オンライン講座1収録	
	2	9~10月 4人 × 3時間 × 500円	6,000
		・ オンライン講座2収録	
	3	11~12月 4人 × 3時間 × 500円	6,000
		・ オンライン講座3収録	
	4	7月頃 5人 × 5時間 × 500円	12,500
		・ つながるBOOK仕分け	
	5	7月 3人 × 1時間 × 500円	1,500
・ 打ち合わせ1			
6	8~9月 3人 × 1時間 × 500円	1,500	
	・ 打ち合わせ2		
7	10~11月 3人 × 1時間 × 500円	1,500	
	・ 打ち合わせ3		
8	12月頃 5人 × 5時間 × 500円	12,500	
	・ 反省会(報告会の打ち合わせ等)		
9	人 × 時間 × 500円		
	・		
10	人 × 時間 × 500円		
	・		

助成金限度額(Z)		=(e)+(f)	
金額(合計)	算出根拠 [自己資金の3倍の金額+労力換算額]		
251,500	204,000	+	47,500

助成金交付申請額(b)	≤	(Z)助成金限度額
240,000円	≤	251,500円

※助成金の限度額は、1,000,000円です。

無報酬で事業に参加する市民の誓約シート

事業の実施時期・ 内容の番号	氏名 注 署名によらない場合は押印してください	住所
1.2.3.4.5.6.7.8		
1.2.3.4.5.6.7		
1.2.3.4.5.6.7		
8		
1.2.3.4.8		
4.8		
8		

* 助成金限度額計算書（別紙2の2）で記入した「事業の実施時期・内容」の番号に合わせて、無報酬で事業に参加する方の氏名・住所を記入してください。

* 実績報告書に添付する際は、氏名欄に参加者の自署または記名押印をしてください。

* 記入欄が不足する場合には、当誓約シート（別紙2の3）を追加してご記入ください。

団体概要

(ふりがな) 団体名		とくていひえいりかつどうほうじん にじのいと					
(ふりがな) 代表者		よしの あい					
連絡責任者・(ふりが)	(ふりがな) 氏名						
	住所						
	電話/FAX						
	E-mail						
設立年月日		2020年 4月 6日					
団体の目的		埼玉県を中心とした子どもと子どもにかかわる大人をはじめとするすべての人に対し、主に性と命に関する普及啓発活動を行い、リプロダクティブ・ヘルス/ライツが守られる社会・誰もが多様性を尊重し合い、心身ともに健全に生きていける社会の実現に寄与することを目的とする。					
会員数		個人会員 15名		団体会員 0団体			
さいたま市内における 主な活動内容		さいたま市学校事務職員向け出前講座への講師派遣 パートナーシップさいたまフェスタへの出展					
団体の財政規模		本年度予算 (令和3年 4月 ~ 令和4年 3月)					
		<収入の部>		<支出の部>			
		会費収入	260	千円	事業費	1,030	千円
		寄附収入		千円	管理運営費	140	千円
		事業収入	1,100	千円	その他支出		千円
		その他収入	100	千円			
		計	1,460	千円	計	1,170	千円
		前年度決算 (令和2年 4月 ~ 令和3年 3月)					
		<収入の部>		<支出の部>			
		会費収入	58	千円	事業費	98	千円
		寄附収入	47	千円	管理運営費	56	千円
		事業収入	109	千円	その他支出		千円
その他収入		千円					
計	214	千円	計	154	千円		
添付書類		<input type="checkbox"/> □ (四角) に <input checked="" type="checkbox"/> (チェック) を入れてください。 <input checked="" type="checkbox"/> 定款又は会則等 <input checked="" type="checkbox"/> 正会員の名簿ならびに最新の役員名簿 <input checked="" type="checkbox"/> 令和3年度の団体の活動予算書 <input checked="" type="checkbox"/> 直近1事業年度分の活動計算書(収支計算書) <input type="checkbox"/> 成年被後見人等に該当しないことを確認した旨の書面(任意団体のみ) <input type="checkbox"/> 団体目的等についての確認書(任意団体のみ) <input type="checkbox"/> その他()					